

天を測り、地を量る

“Astronomical measurement and Topographical measurement”

測量という言葉は中国の「測天量地」(天を測り、地を量る)という表現に由来します。測も量もともに「はかる」と読みますが、このように本来は「はかる」対象が^{ちが}違いました。測量とはすなわち、天文観測と地上の測量との両方を表現しています。天文学と土地の測量術は、どちらも古代に中国から伝わりました。

^{えど}江戸時代には西洋からもたらされた知識や技術を取り入れて、^{えいきょう} ^{あた}たがいに影響を与えながら高度に発展し、天文学は^{こよみ}暦作りへ、測量術は地図作りなどに活用されました。

The word "survey" comes from the Chinese expression "measure the sky to measure the earth." In Japanese, there are multiple words for "measure" depending on the object being measured. Surveying includes both astronomical observation and topographical surveying. Astronomy and surveying both came to Japan from ancient China.

All of them developed to a high degree during the *Edo* period while influencing each other. Astronomy was used to create calendars, and surveying was used to create maps.

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介しますデジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.